

大人のための
歯科講座

「歯科治療の新潮流」

＝⑤＝

前回、インプラントは患者さんにも歯科医師にも多くのものをもたらしたと述べましたが、今回は患者さんにもたらしたことについて述べたいと思います。

患者さんにとっては何といっても義歯(入れ歯)からの解放が最も大きなことです。義歯でもしっかりとめている方は大勢いて満足

している方もいますが、残念ながら我々慢性的に使用している義歯(入れ歯)は、年々老化が進んで歯肉と受け入れられないので、インプラント治療を終了後、私に希望されました。治療後の感想は話しやすく、人前でよく仕事柄話すことが多く、義歯では話すらいというので、もったいない治療を義歯で困っている人々に勧めた方がいいと思者さんの方から言われ

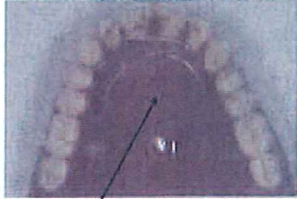
患者さんにもたらしたもの
**インプラントにより
義歯の難点を解消**

している方もありますが、残念ながら我々慢性的に使用している義歯(入れ歯)は、年々老化が進んで歯肉と受け入れられないので、インプラント治療を終了後、私に希望されました。治療後の感想は話しやすく、人前でよく仕事柄話すことが多く、義歯では話すらいというので、もったいない治療を義歯で困っている人々に勧めた方がいいと思者さんの方から言われ

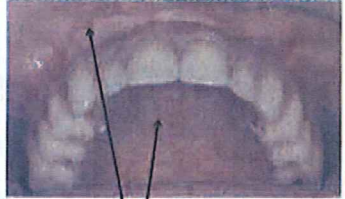
聞きます。特に歯をくなくなったことだけでなく、よく食事までできて、久しぶりにご飯がおいしく感じたとおっしゃいました。義歯の床の部分があると、食べ物や、食感を感

患者さんにもたらしたもの
インプラントと義歯の比較ではかめるという点でだけ語られることが多いですが、実はそれだけでないのです。義歯による不満点としてしゃべりにくい、食事がおいしくない、バネがみえたりして見た目が悪い、取り外しが面倒、ごまなどが入るとものすごく痛い。などその他たくさん

治療前に使用されていた総義歯 インプラント埋入後の固定式の補綴物



義歯の維持、安定のために必要な上あごの義歯床



義歯と違い、粘膜に維持を求めないため必要最小限の大きさですっきりしている。

固定式で動くことがなく、また取り外しの必要がない。何でも良くかめる。ネジでインプラントと固定されているため、歯科医師は外すことができる。長く使用していると修理が必要になる場合もあるため簡単に外せることも重要。また上あごの部分に義歯では覆ってしまうが、インプラントではそれができないため異物感がほとんどなく、上あごでも食感を楽しむことができ、食事をおいしく感じられる。上あごは発音にも大きく関係していて、ここに異物がくるとタ行、サ行が話しづらい場合がある。

ルースセントデンタル
クリニック 名古屋市中区
西区牛島町6の1・名
古屋ルーセントタワー
3階、電話052・21
08・8555、UR
om.
www.lucsent-dc

ルースセントデンタル
クリニック 副院長
後藤 英夫

＜略歴＞ 1998年、東京医科歯科大学歯学部卒業。名古屋大学医学部遺伝子再生医療センター医員、国立長寿医療センター歯科口腔外科勤務などを経て、2008年からルースセントデンタルクリニック副院長。

ルースセントデンタル